

経済情勢報告

令和6年3月1日
富山県商工労働部商工企画課

1 富山県の動き

(1) 概況

本県経済をみると、個人消費は、地震の影響等により下押しの動きがみられる。住宅建設は、弱含んでいる。設備投資は、増加している。公共投資は、おおむね横ばいとなっている。生産は、弱含んでおり、地震の影響等により下押しの動きがみられる。雇用情勢は、改善の動きにやや弱さがみられる。企業倒産の件数は、一桁台となっている。消費者物価は、上昇している。以上のように最近の本県の景気は、令和6年能登半島地震の発生前は、持ち直していたものの、地震の影響等により、生産や消費を中心に下押しの動きがみられる。

先行きについては、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されるが、地震が県内経済に及ぼす影響について国内外の景気動向とあわせて十分留意する必要がある。

主な指標	指数等	前月（期）比	前年同月比
鉱工業生産指数（12月）	94.1	▲2.6%	▲0.3%
鉱工業在庫指数（12月）	115.8	同水準	1.9%
大型小売店販売額（12月）	138億9百万円	（全店ベース）	2.1%
新設住宅着工戸数（12月）	290戸	▲27.1%	▲29.8%
消費者物価指数（1月・富山市）	107.8	同水準	3.0%
有効求人倍率（1月・季節調整値）	1.43倍	0.04 ^ホ イント	▲0.15 ^ホ イント

※鉱工業生産指数・在庫指数は、平成27年＝100

※消費者物価指数は、令和3年7月分発表時より令和2年基準に改定

※有効求人倍率は、令和5年12月以前の数値を新季節指数により改定

(2) 個人消費

個人消費は、地震の影響等により下押しの動きがみられる。大型小売店（百貨店・スーパー等）販売額をみると、11月は113億17百万円の後、12月は138億9百万円で前月比22.0%増（前年同月比2.1%増、既存店は前年同月比0.9%増）となった。また、耐久消費財の販売動向を乗用車（軽を含む。）の新車新規登録台数でみると、12月は2,922台で前年同月比4.4%増の後、1月は2,215台で同20.2%減となった。

(3) 住宅建設

住宅建設は、弱含んでいる。新設住宅着工戸数をみると、11月は総戸数398戸（前年同月比9.9%増）の後、12月は総戸数290戸（同29.8%減）で、内訳をみると、持家は177戸（同24.7%減）、貸家は76戸（同17.4%減）、分譲住宅は37戸（同26.0%減）などとなっている。

(4) 設備投資

設備投資は、増加している。日本銀行金沢支店「北陸3県企業短期経済観測調査」（令和5年12月調査）により、令和5年度設備投資計画をみると、富山県は、全産業で前年度比14.7%増となった（ソフトウェア投資額を除く）。内訳は、製造業で前年度比33.2%増、非製造業で前年度比3.2%増となった。

(5) 公共投資

公共投資は、おおむね横ばいとなっている。公共工事前払金保証事業統計（北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱調べ）で公共工事請負金額をみると、12月は44億49百万円の後、1月は25億92百万円で前年同月比27.4%減となった。また、令和5年11月－令和6年1月期の平均額は、47億72百万円で前年同期比16.1%増となった。

(6) 生産

鉱工業生産の動きをみると、弱含んでおり、地震の影響等により下押しの動きがみられる。鉱工業生産指数（平成27年＝100、季節調整済）は、11月に96.6となった後、12月は前月比2.6%低下の94.1（前年同月比0.3%低下）となった。業種別に動き（前月比）をみると、13業種中、電気機械工業、金属製品工業、食料品工業など9業種が上昇し、化学工業、汎用・生産用・業務用機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業など4業種が低下となった。鉱工業生産者製品在庫指数は、11月に115.8となった後、12月は前月比横ばいの115.8（前年同月比1.9%上昇）となった。業種別に動きをみると、13業種中、汎用・生産用・業務用機械工業、プラスチック製品工業、非鉄金属工業などの5業種が上昇し、電気機械工業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業など7業種が低下し、化学工業が横ばいとなった。

(7) 雇用情勢

雇用情勢は、改善の動きにやや弱さがみられる。月間有効求人数（パート含む。）は1月に22,826人（前年同月比3.9%減）、月間有効求職者数（パート含む。）は1月に15,339人（同6.5%増）となった。有効求人倍率（季節調整済）は、12月に1.39倍の後、1月は1.43倍となった。

(8) 企業倒産

企業倒産件数は、一桁台となっている。企業倒産（負債額1,000万円以上、東京商工リサーチ富山支店調）の状況をみると、12月に6件、負債総額17億83百万円（前年同月：1件減、6億48百万円減）の後、1月の件数は3件で、負債総額2億26百万円（前年同月：1件減、1億39百万円減）となった。産業別では、建設業で1件、小売業で1件、サービス業他で1件だった。破綻原因は、販売不振3件だった。

(9) 物価

消費者物価は、上昇している。富山市の消費者物価指数（令和2年＝100）をみると、総合指数は、12月は107.8で前月比0.1%下落（前年同月比3.4%上昇）となった後、1月は107.8で前月比同水準（同3.0%上昇）となった。前月比で「食料」などが上昇したものの、「被服及び履物」などが下落したため、総合指数の前月比は同水準。また、生鮮食品を除く総合指数は107.2で、前月比0.2%下落（前年同月比3.0%上昇）、生鮮食品の指数は120.3で、前月比3.8%上昇（同3.5%上昇）となっている。

また、国内企業物価指数を見ると、12月は120.1で前月比0.3%上昇（前年同月比0.2%上昇）となった後、1月は120.1で前月比同水準（同0.2%上昇）となった。

(10) その他の動き

① 工業の動き（12月～1月）

業種別	企業ヒアリングの特徴点
一般機械	<p>自動車産業、航空機産業向けの軸受については、生産は横ばい、出荷は減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、足りている。</p> <p>金属工作機械については、受注は減少、売上は横ばいとなっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、不足している。</p>
電子電気機械	<p>電子機器等については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、足りている。</p> <p>半導体製造装置については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p> <p>変圧器、配電盤については、生産、出荷ともに増加となっている。現状は低調、見通しは堅調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
金属製品	<p>アルミニウム建材製品、住宅規格商品については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>民生用包装容器については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
非鉄金属	<p>生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
鉄鋼	<p>生産は減少、出荷は横ばいとなっている。現状、見通しともに停滞となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>

業種別	企業ヒアリングの特徴点
化学	<p>基礎化学品、機能化学品、農業化学品については、生産は減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>医薬品については、生産、出荷ともに減少となっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、不足している。</p>
紙・パルプ 印刷紙器	<p>生産は減少、出荷は横ばいとなっている。現状は低調、見通しは停滞となっている。雇用状況については、不足している。</p>
木材・木製品	<p>需要、価格ともに横ばいとなっている。見通しは、不透明となっている。</p>
プラスチック	<p>車両関連については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>家庭用品、園芸用品、工業製品については、生産は減少、出荷は増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
情報サービス	<p>受注、売上ともに増加となっている。現状、見通しともに堅調に推移している。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
繊維	<p>出荷は減少となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>

② 労働市場（富山労働局職業安定課調）

1月の富山県の雇用情勢をみると、新規求人数（パート含む。）は8,646人で、前年同月比3.0%減となった。主要産業別では、建設業（1.3%）、卸売業、小売業（0.8%）、金融業、保険業（161.5%）、生活関連サービス業、娯楽業（17.0%）、医療、福祉（1.8%）サービス業（13.4%）、公務・その他（3.2%）等で増加し、製造業（▲17.9%）、情報通信業（▲52.5%）、運輸業、郵便業（▲22.8%）、不動産業、物品賃貸業（▲31.1%）、宿泊業、飲食サービス業（▲14.2%）等で減少した。労働力需給の趨勢を有効求人倍率（季節調整値）でみると、1月は1.43倍となり、前月比で0.04ポイント上昇となり、前年同月比で0.15ポイント低下となった。

③ 近年の企業立地動向

区 分	30年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
雇用創出数	517人	424人	321人	356人	362人
企業立地件数	70件	72件	60件	60件	62件

※県独自集計

・主要企業用地の分譲状況

富山新港臨海工業用地 426.8ha（うち分譲済 418.0ha、分譲率 98%）

・最近の主な立地企業（令和4年3月以降、増設を含む）

企 業 名		業 種	竣 工 操業開始 年 月
株式会社東洋電制作所（横越第2工場）	上市町	電気制御装置製造	5年12月
ダイト株式会社（第十製剤棟）	富山市	医薬品製造	5年12月
日本重化学工業株式会社（高岡事業所 水素吸蔵合金工場）	高岡市	水素吸蔵合金製造	5年11月
カルパオン株式会社（入善工場）	入善町	産業機械製造	5年9月
株式会社大樹（本社工場増築）	射水市	包装資材製造	5年8月
株式会社SCREENホールディングス（高岡事業所）	高岡市	半導体製造装置製造	5年8月
Genky DrugStores株式会社（ゲンキー富山小矢部RPDC）	小矢部市	ドラッグストア事業	5年7月
ナレッジメディカル株式会社（本部社屋）	高岡市	医療機器販売	5年7月
リードケミカル株式会社（久金工場南 包装物流棟）	上市町	医薬品製造	5年7月
富士化学工業株式会社（製剤第3棟）	上市町	医薬品製造	5年7月
株式会社シキノハイテック（第二工場）	魚津市	電子機器製造	5年5月
株式会社不二越（油圧走行モータ第2工場）	滑川市	工具・工作機械製造	5年4月
ジャパンメディック株式会社（新工場）	富山市	医薬品製造	5年4月
株式会社リッチェル（本社R&Dセンター）	富山市	プラスチック製品製造	5年4月
十全化学株式会社（本社屋）	富山市	医薬品製造	5年3月
立山化成株式会社（新精製棟）	射水市	医薬品製造	5年3月
日東メディック株式会社（第1製剤棟）	富山市	医薬品製造	4年12月
株式会社廣昌堂（新包装棟）	射水市	医薬品製造	4年12月
日本ゼオン株式会社（統合生産センター）	高岡市	合成ゴム・電子材料製造	4年10月
株式会社KMC（新本社・工場）	高岡市	金型製造	4年9月
NSK富山株式会社（高岡工場 新棟）	高岡市	産業機械用軸受製造	4年9月
タカノギケン株式会社（新工場）	富山市	電子部品製造	4年7月
富士製薬工業株式会社（第7製剤棟）	富山市	医薬品製造	4年7月
富士製薬工業株式会社（第6製剤棟）	富山市	医薬品製造	4年6月
株式会社山口技研（新工場）	入善町	精密加工	4年6月
ダイト株式会社（第七原薬棟）	富山市	医薬品製造	4年5月
鹿島興亜電工株式会社（富山工場）	砺波市	電子部品製造	4年5月
エヌアイシ・オートテック株式会社（立山第3工場）	立山町	産業用アルミフレーム製造	4年4月
富山小林製薬株式会社（漢方棟）	富山市	医薬品製造	4年3月

2 全国の動き

内閣府の月例経済報告をご参照ください。

内閣府ホームページ：<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>